

六月句会 互選 お題「便利」

3重宝がられ窓際のナンデモ屋 千楽

健一 英二 哲子

便利でもスマホにあるよ落とし穴 ひよこ

純一 アキラ 幸男

厨房に男子入れる世で便利 乃り子

ミチ 郁子 アキラ

お風呂沸いたと疲れた我に声かかる 乃り子

英二 アキラ 基弘

4スマホ忘れ支払いできず鍵開かず 健一

ひよこ きよな〇 基弘

5見渡せばみんなスマホの小作人 広子

ミチ 郁子〇 きよな 哲子

便利さが感性までもそいでゆく 正清

乃り子 健一 アキラ 哲子〇

7便利さが奪うやさしさ人間味 英二

純一 乃り子 きよな 健一〇

アキラ〇

9溢れくる便利に躊躇昭和モン 広子

純一 ひよこ ミチ 郁子

きよな 哲子 基弘〇 幸男

秀12 掃除ロボ動けるようにまず掃除 健一

幸男〇 基弘 乃り子〇 ひよこ〇

ミチ〇 きよな 英二〇

お題「道」(連記) 近藤郁子選

大谷の弾道追って五万人 純一

弓道や茶道に学ぶ和の心 ひよこ

十八は踏み間違えて善の道 幸男

魂も緑に染まる森の道 広子

戦時中両親が辿った苦難 千楽

後はもう一本道と覚悟する 英二

一本道真っ直ぐ生きて事を成す きよな

室生寺にざんげを抱いて道半ば 正清

避難所のガラスに写る遠き道 ちさと

カフェ目指しスマホ片手の背中追う ミチ

道半ば悔いも誇りもあり自分 乃り子

裏道にささやかな景ぬるい風 哲子

意地をはり我が道を行く頑固者 基弘

ナビ無視し苦労重ねたマイウェイ アキラ

ウォーキング遠回りしてあと一句 健一

秀 通り道いつも気になるお嬢さん えいじ
軸 その時に自分が決めた道だから 郁子

お題「捨てる」谷口ミチ選

モノを捨て思い出捨てる寂しさを 郁子

合いカギを捨てられないで持つている ちさと

断捨離がもう遅すぎてゴミの山 幸男

捨てられぬ思い出写真だけ捨てる 英二

故郷を捨てたつもりが夢に出る 英二

年越しに歯ブラシ替えて良い年に えいじ

捨てようか躊躇しているお雛様 えいじ

喧嘩して声を出さずに捨て台詞 ひよこ

捨て金と買っていった株化けました アキラ

捨てた夢拾い上げたいもう一度 きよな

紅麴出店やめて五億捨て 基弘

カラスには前がよかったゴミ捨て場 乃り子

断捨離を止めるセピアの母の文 広子

捨てられぬ本棚の青春時代 千楽

秀 もう着ない背広陣取るクロゼット 健一

軸 手放せぬ想い漂う母の部屋 ミチ

お題「ゆっくり」(共選) 小妻健一選

目覚めると先ずはゆっくりルーティーン 哲子

復元に時間をかける遺跡あと 基弘

過疎地にも若い力が芽吹きだす アキラ

貴方の元へ逝くのは少しゆっくりで きよな

ゆっくりと歩いたつもりもう八十路 純一

下を見ず気持ちととのえ渡る橋 哲子

粹じやないマクドケンタでゆっくりと 英二

良いところ十指で足りぬと誉め育て 乃り子

まだ白寿ゆっくりで良いお迎えは 幸男

老い自覚スロースローのマイペース アキラ

穏やかなCMが心に沁みる 千楽

暗闇に微速度撮影のつぼみ 正清

習い事少し手応え見えてきた ミチ

ホログラム愛でる新札平安と 幸男

秀 赤ワインゆるり想い出連れてくる 広子

軸 口喧嘩一気に剥がす湿布薬 健一

お題「ゆっくり」(共選) 五十嵐千楽選

口喧嘩一気に剥がす湿布薬 健一

五分だったバス停今は二十分 英二

下を見ず気持ちととのえ渡る橋 哲子

ゆっくりと考えなさいとせかしつつ
貴方の元へ逝くのは少しゆっくりで
ゆっくりと振って遠くへ飛ばしたい
習い事少し手応え見えてきた
赤ワインゆるり想い出連れてくる
ホログラム愛でる新札平安と
ゆっくりが生まれつきかも性に合い
のんびりと時が飛ぶのを見詰めてる
良いところ十指で足りぬと誉め育て
若い人余生ゆっくりできぬ世に
秀 復元に時間をかける遺跡あと
秀 過疎地にも若い力が芽吹きだす
軸 急ぎ出世し旅立ちも慌ただし

純一
きよな
健一
ミチ
広子
幸男
えいじ
広子
乃り子
郁子
基弘
アキラ
千楽

トンネルに土砂崩れあり遠回り
梅雨だとはわかつているがひどい雨
傘忘れ傘を借りたが雨降らず
七月に入ってしまった年増える

ひよこ

父の前涙の笑顔初賜杯
潮干狩貝を掘らずに蟹を追
円高も円安もだめ何がいい
ゆっくりと剥がしてほしい湿布薬

健一

体操のラジオに負けぬ鳥の声
玄関の小窓今年も家守君
ボランティア指折り数え楽しい日
庭の茄子まあるくなつて色もよし

ミチ

自由吟 野々村アキラ選

朝焼けに母の逝きし日思いだす
梅雨空をそっと見上げて水を撒き
都知事戦無所属といえ裏に蔵
千年の紙幣時代のラストラン

純一

七夕に逢えたら皆んな彦星に
エアコンの部屋に入ると軽井沢
温暖化農作物も悲鳴あげ
都知事選終わり誰もが評論家

哲子

災害におびやかされる温暖化
アーバンベア日々のニュースに顔を出す
プライバシー保護でうやむや知る権利
無党派層どこになびくか風まかせ

郁子

人並みに税金払う個体です
気晴らしに浸かり寝るだけ気まま旅
誰にでもあるはず皆んな手を合わす
雨あがりによきによききのこあたま出す

えいじ

AIの社長に変わる時代くる
話したい病院休み相手こず
ほとぼりが覚めた議員のしたり顔
将来に良いことあると今を見る

基弘

奥行の浅い引き出し持っている
記念日は光る石より小さき花
立てば歩けと子に望んでた今我に
色褪せてシックでしょうと負け惜しみ

乃り子

仏壇のホコリがちよっと気にかかる
線香の香りが判る鼻となる
連れ合いのドラマのような回顧談
ゴミ出しにムクゲ満開ご挨拶

広子

平凡もおだやかさまでも総スカン
夜な夜なに男に化けている頭脳
延命に砂時計など用意する
火葬されやつと本音を言つて夏

ちさと

やっぱりね知事は殿様お姫様
先送り出来ぬ課題は辞任でしよ
幕僚長尻尾になって天下り
裏金のために防衛力強化

英二

やみくもに見栄とてらいを放し飼
猛暑日に同居のうつがスタンバイ
粘膜がカピカピになる生まれ月
沼が涸れへドロの中のパスワード

正清

夏祭り好きな踊りは終わりまで きよな

浴衣地で孫のドレスを仕上げます

夏空の入道雲が大暴れ

まだ来ない待っていますよ青い鳥

じっくりと人生語る深夜便 千 楽

ゆっくり成長老化あつという間

定宿も代替わりして若主人 アキラ

インターネット英語もこなしご繁盛

若鮎の煮びたし夏を噛みしめる

お喋り会余計なこともつい喋る

勉強会 お題「海」 9名で互選 数字は票数

秀 7 炎天の砂丘を海の見えるまで 郁 子

6 訳知らず口ずさんでた海行かば 健 一

5 さざ波も津波に化ける地震後 基 弘

4 言葉の海は楽しからずや四句八句 千 楽

4 バカヤロー海に叫んで吹っ切れた アキラ

ヤドカリの引越し小五の絵日記 健 一

3 波の音なつかし故郷夏休み ひよこ

瀬戸の海険しい顔を見せぬ波 きよな

島の夜ひたひた波の子守唄 ミ 子

はや半世紀拉致の海涙枯れ 千 楽

ふるさとの海深いこと母に似て 純 一

推薦十句 播本英二選 全句の中から選句

知恵の輪のように絡まる赤い糸 きよな

夫婦だが所詮は他人裏表 幸 男

魂も緑に染まる森の道 広 子

道半ば悔いも誇りもあり自分 乃 子

捨てられぬ本棚の青春時代 千 楽

楽しみを捨てて無心の回り道 正 清

捨てた夢拾い上げたいもう一度 きよな

梅雨空をそっと見上げて水を撒き 純 一

奥行の浅い引き出し持っている 乃 子

猛暑日に同居のうつつがスタンバイ 正 清

☆新聞巻頭句獲得 おめでとうございます

六月十九日奈良新聞 北谷敦美選「汗」

夏の海網ひく父の背の汗 きよな

故須都紘さんへアキラの弔吟です

弔吟 須都紘さんのご逝去を悼み

無念なり須都紘さん星になる

強い心優しい心忘れない

だとしても突然すぎるお別れに

川柳をお褒めいただきありがとうございます

鹿ノ台空の上からご加護あれ

防犯カメラ いきいきホール建設・運営

いきいきホール駐車場整備

よんにちサロン オータムフェスタ

春まつり コミバス 等々

地域への貢献 数えれば限がありません

須都さん本当にありがとうございます

謹んでお悔やみ申し上げます

鹿ノ台北2丁目 野々村詮

川柳教室としてもいきいきホール運営委員長の
須都さんには大変お世話になりました
ご自宅を弔問し奥様にお届けしました